学校番号	3010

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新編現代文Ａ」（第一学習社）						
副教材等	書いて覚える漢字練習ノート（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・多くの作品、言葉に触れる機会を設け、語彙力の向上を図る。
・文学として味わえるような豊かな心を育成する。
・漢字ワークを自学自習しながら、小テストで漢字の習得度を確認する。
・自ら考え、それを的確に伝えられるようにする。

2　学習の到達目標

・社会人として必要な国語力の基礎を構築する。
・文学を味わう心を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている
評価方法	行動の観察 記述の点検(ノート、ワークシート)			記述の確認及び分析(ノート、ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の点検(ノート、ワークシート) 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	小説を読む一・三	教材: 小説「デューク」	○			◎	○	a:身近な動物の死を乗り越えて進む姿を学ばせる。主人公の心の傷、気持ちが、動物の愛によって癒されてゆく過程の描写を読み解くことで、親愛の情について考察させる。本作品の本文から滲み出る温かみを意識することができているか。活字の与える印象について考察できているか。 d:本文に用いられている言葉の意味や効果、配置を確かめながら小説の言語表現を深く味わっているか。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解しているか。正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしているか。	a: 行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
		教材: 小説「鼻」	○			◎	○	a:作品を通して、自己分析の契機とできているか。本文の内容を、自身の長所、短所の捉え方、多角的な自己分析に活用できているか。 d:文章に書かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、味わえているか。用いられている表現を考察することに加えて、自身を物語の中に投影できているか。 e:歴史的背景を理解した上で作品を読み取れているか。稚拙且つ繊細な大人の自尊心を理解できているか。	a: 行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査

二学期	小説を読む四	教材:「ひよこの眼」	○			○	◎	a:人物の変化について想像力を働かせ考察できているか。会話劇の中で多くの登場人物が現れ、多くの状況が描写されている。その小説の中の世界に没入し、主人公とのやりとりを想像できているか。心境の変化について考察されているか。作中の空気感を感じようとする姿勢がみえるか。 d:文章に書かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、味わえているか。用いられている表現を考察することに加えて、自身を物語の中に投影できているか。 e:表現の特色を理解しているか。物語の終わり方について、伏線を咀嚼し、理解できているか。状況の違いに伴う、言葉の取捨選択について学べているか。	a: 記述の点検と確認 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	小説を読む三	教材:「こころ」	◎			○	○	a:入試等で頻出する作品であることを明示し、取り組ませる。難解な文章から深みを感じ取り、「文学を味わう」という感覚を育成する。読み解いた先の、充実感、独特の読後感を得ることができているか。生徒が文章読解力の成長を実感することができているか。また、不十分な点についての再学習に意欲的に取り組んでいるか。 d:表出する表現だけでなく、言葉の真なる意図を読み取れているか。口語的ナレーションの意図に気付くことができているか。人物、情景、心情などが捉えられているか。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解しているか。	a: 行動の観察と確認 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査

三学期	小説を読む六	教材:「山月記」	○			◎	○	a:人物、情景、心情の描き方の特徴を理解し、象徴、予兆などにもたらしている効果に気付けているか。難解な漢語を理解するとともに、独特の文体の醸し出す雰囲気を味わえているか。作品のテーマを理解し、自身で咀嚼できているか。 d:文章中の表現が、象徴、予兆などに果たしている効果に気付けているか。漢文のもたらす効果について理解できているか。他人を思いやることと、自身の尊厳との狭間の機微を理解しようとする姿勢がみられるか。 e:文章の形態や、文体の違いによる特色について理解しているか。	a: 行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力

d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域(「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」)に関わる観点には◎印を付している。